

## 小学校第 6 学年

# 国語 B

### 注 意

- 1 先生の合図があるまで、中を開かないでください。
- 2 調査問題は、1 ページから 16 ページまであります。
- 3 解答用紙は、両面に解答らんがあります。解答は、  
全て解答用紙に書きましょう。
- 4 解答は、HB または B の黒鉛筆（シャープペンシル  
も可）を使い、こく、はっきりと書きましょう。また、  
消すときは消しゴムできれいに消しましょう。
- 5 解答時間は、40 分間です。解答が早く終わったら、  
よく見直しましょう。
- 6 机の上の「個人番号票【解答用紙記入用】」をよく見  
て、解答用紙に、学校名、組、出席番号、男女、個人  
番号をまちがいのないよう書きましょう。

問題は、次のページから始まります。

1

第一小学校の六年生の学級では、「卒業文集はパソコンを使ってつくるか、手書きにするか」という議題で、それぞれの立場に分かれて討論会とうろんかいを行っています。次は、そのときの【討論会の様子】です。これをよく読んで、あとの問いに答えましょう。

【討論会の様子】：①・②・③・④・⑤の発言の内容は、あとの問いと関係があります。



司会 これから討論会を始めます。今回の議題は、「卒業文集はパソコンを使ってつくるか、手書きにするか」ということです。ではまず、パソコンを使う立場からの主張をお願いします。

パソコンを使う立場の主張



丸山 ①はい。ぼくは、パソコンを使う方がよいと思います。手書きは、文字を書いたり消したりするのがめんどうだからです。パソコンであれば、何度でも簡単に書き直すことができるので、作業に取り組みやすいと思います。



大野 ②私もパソコンを使う方がよいと思います。記念に残る卒業文集なので、読みやすくつくるべきだと考えます。手書きだった去年の卒業文集には読みにくいところがありました。パソコンであれば、文字が上手かどうかに関係なく、文字の形や大きさがそろっているので、読みやすくなります。



司会 次に、手書きの立場からの主張をお願いします。



関口 はい。ぼくは、手書きの方がよいと思います。六年生のときの手書きの文字をそのまま残した方が、記念に残る卒業文集になると思います。



平川 ③私も手書きの方がよいと思います。学校のパソコンは、利用できる場所や時間が限られています。手書きであれば、場所や時間を気にせず、自分のペースで作業を進めることができるので、取り組みやすいと思います。

手書きの立場の主張

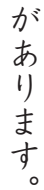
手書きの立場からパソコンを使う立場への質問や意見

「記念に残る卒業文集のあり方」について

あなた

（討論会が続く）

大野さんの発言に対して



があります。

イ

司会



ほかにありませんか。（発言がないことを確かめて）ないようであれば、次に、二つ目の「記念に残る卒業文集のあり方」について、質問や意見をお願いします。

「ア」について

丸山



確かに、パソコンを上手に使えない人は時間がかかると思います。そうであれば、使い慣れている人が、そうでない人に教えながら取り組むこともできると思います。

谷



丸山さんの発言に対して意見があります。全員がパソコンを使いこなせるわけではないので、作業に時間がかかってしまい、完成がおそくなります。パソコンを使うよりも、手書きの方がスムーズに取り組めるので、手書きがよいと思います。

丸山



はい。学級の半分ぐらいの人は、使うことに慣れていると思います。

林



⑤丸山さんの発言に対して質問があります。私はパソコンの操作が得意ではありません。パソコンを使って文章を書くことに慣れている人は、学級に何人ぐらいいると考えていますか。

司会



④ここで、一度整理をします。それぞれの主張に共通する観点有二つあります。一つ目は、丸山さんと平川さんから出された「ア」についてです。二つ目は、大野さんと関口さんから出された「記念に残る卒業文集のあり方」についてです。では最初に、手書きの立場からパソコンを使う立場に対して、二つの観点それぞれについての質問や意見を出してもらいます。まず、一つ目の「ア」から、質問や意見をお願いします。

一 【討論会の様子】の中の司会④の ア の中には、丸山さん①と平川さん③の発言に共通する観点が入ります。ふさわしい内容を、二人の発言に共通する言葉を使って、**十二字以内**で書きましょう。

二 【討論会の様子】の中の林さん⑤の質問は、どのようなねらいがあると考えられますか。その説明として最もふさわしいものを、**1から4**までの中から一つ選んで、その番号を書きましよう。

- 1 相手の主張の内容と自分の主張の内容との共通点を知ろうとしている。
- 2 相手の主張に対する自分の考えが理解されているかどうか確認かくにんしようとしている。
- 3 相手の主張の中で述べられていないことがらをくわしく聞き出そうとしている。
- 4 相手の主張の中に理由が述べられていないことを明らかにしようとしている。

三 あなたは、【討論会の様子】の中の イ のところで、大野さん②の発言に対して、手書きの立場から「質問」か「意見」かのどちらかを述べます。解答用紙の □ の中に「質問」か「意見」かのどちらかを選んで書き、その内容を次の条件に合わせて書きましよう。

〈条件〉

- 大野さん②の発言の中の言葉を、「」を使って引用して書くこと。なお、「」の中に引用する言葉は二十五字以内とする。
- 書き出しの文に続けて、八十字以上、百字以内にまとめて書くこと。なお、書き出しの文は字数にふくむ。

※左の原稿用紙は下書き用なので、使っても使わなくてもかまいません。解答は、解答用紙に書きましょう。  
※◆の印から書きましょう。とちゅうで行を変えないで、続けて書きましょう。

				◆	大	野	さ	ん	の	発	言	に	対	し	て		が	あ	り	ま	す	。

100字 80字

原田さんと野口さんは、校外学習で動物園に行き、ゾウの鼻について下のような【疑問】をもちました。そこで二人は、それぞれの疑問を解決するために、次の【科学読み物】を読みました。

【科学読み物】の下の【原田さんのふせん】、【野口さんのふせん】は、分かったことや新たな疑問を書いたものです。これらをよく読んで、あとの問いに答えましょう。

※【科学読み物】の中の印についての説明  
 — 部：分かったこと  
 ~ 部：新たな疑問に係る部分

【科学読み物】

鼻にとくちようがある動物というと、みなさんはどのような動物を思いかべますか。きっとゾウを思いかべる人が多いことでしょう。ゾウといえば、長い鼻がとくちようの一つです。では、ゾウの鼻はどうして長いのでしょうか。

大昔のゾウの体は、今のゾウの体よりもずっと小さかったといわれています。鼻も今より短かったのですが、長い年月の間に体がだんだんと大型化し、口が地面からはなれていったようです。それとともに、鼻と上くちびるがいっしょに長くのびていったことで、頭を下げなくても草や水を口に運ぶことができるようになったと考えられています。

ゾウは、長い鼻を使っていろいろなことができます。

【疑問】

【原田さんの疑問】

A

【野口さんの疑問】

ゾウの長い鼻は、おいを感じ取ることができるのか。



※「ふせん」：分かったことや疑問などを書いて、本や文章に目印として付ける紙。

【原田さんのふせん】

①鼻は、今よりも短かったが、体がだんだんと大型化し、口が地面からはなれていったようだ。

②鼻と上くちびるがいっしょに長くのびていったことで、頭を下げなくても草や水を口に運ぶことができたようになった。

③長い鼻を使うことで、できること。  
 (食べ物をつかむ、水をすいあげて飲む、水浴び、あいさつ)

例えば、食べ物をつかんで口に運んだり、水をすいあげて飲んだりすることができません。また、すいあげた水をシャワーのようにして浴びたり、鼻をからませ合ってあいさつをしたりすることもできません。このように、ゾウの長い鼻は、生活する上でさまざまなことに役立っているのです。



▲高く鼻を上げて遠く  
においをかぐゾウ

ゾウの鼻は、ほかの動物たちと同じように、においを感じ取ることもできません。長いからといって、においを感じ取ることができないわけではないのです。むしろ、においを感じ取ることは、ひじょうにすぐれており、二、三キロメートル先のおいをかぎ分けるともいわれています。

すぐれた鼻を使うことで、水場や食べ物をさがすこともできます。また、においのちがいで仲間を見つけてもできます。

ゾウのほかにも、においを感じ取ることにすぐれた動物はたくさんいます。

（内容が続く）

④鼻の短い動物の鼻の役目は？

・カバやブタは、鼻を使って何ができるのか。

### 【野口さんのふせん】

①長いからといって、においを感じ取ることはできないわけではない。

②二、三キロメートル先のおいをかぎ分けるともいわれている。

③すぐれた鼻を使うことで、

④においを感じ取ることにすぐれた動物はどのような動物か？  
・イヌは、どれくらい先のおいを感じ取るのか。

### 【原田さんの疑問】の

A

の中には、どのような内容が入ると考えられますか。ふさわしい内容を、【原田さんのふせん】①から③までの内容をもとにして、十五字以上、四十字以内で書きましよう。



二 原田さんと野口さんは、書いたふせんを整理しながら【疑問】に対するまとめを書いていきます。  
【野口さんのまとめ】の B の中には、どのような内容が入ると考えられますか。ふさわしい内容を、【原田さんのまとめ】の書き方を参考にし、次の条件に合わせて書きましょう。

〈条件〉

- 【野口さんのふせん】③と④の両方の内容を使って書くこと。
- 【野口さんのふせん】③の内容については、【科学読み物】の 部の二文を一文にして書くこと。また、④の内容については、「例えば」という言葉を使って書くこと。
- 書き出しの言葉に続けて、百字以上、百二十字以内にまとめて書くこと。なお、書き出しの言葉は字数にふくむ。

【原田さんの疑問】

A



原田さん

「分かったこと」

①鼻は、今よりも短かったが、体がだんだんと大型化し、口が地面からはなれていったようだ。

②鼻と上くちびるがいっしょに長くのびていったことで、頭を下げなくても草や水を口に運ぶことができるようになったようだ。

【野口さんの疑問】

ゾウの長い鼻は、においを感じ取ることができるのか。



野口さん

「分かったこと」

①長いからといって、においを感じ取るこ  
とができないわけではない。

②二、三キロメートル先のにおいをかぎ分  
けるともいわれている。

③長い鼻を使うことで、できること。  
(食べ物をつかむ、水をすいあげて飲む、水浴び、あいさつ)

### 「新たな疑問」

④鼻の短い動物の鼻の役目は？

・カバやブタは、鼻を使って何ができるのか。

### 【原田さんのまとめ】

ぼくが、ぎ問に思った「**A**」  
ということについて、次のことが分かった。

大昔のゾウの鼻は、今のゾウの鼻よりも短かったが、体が大型化し、口が地面からはなれていったようだ。そして、鼻と上くちびるがいっしょに長くのびていったことで、頭を下げなくても草や水を口に運ぶことができるようになったようである。長い鼻を使うことで、食べ物をつかんだり、水をすいあげて飲んだりすることができる。また、水浴びや、あいさつをすることもできる。調べていくうちに新たなぎ問も出た。鼻の短い動物の鼻の役目は何かということだ。例えば、カバやブタは、鼻を使って何ができるのか調べたい。

③すぐれた鼻を使うことで、

### 「新たな疑問」

④においを感じ取ることにすぐれた動物はどのような動物か？

・イヌは、どれくらい先においを感じ取るのか。

### 【野口さんのまとめ】

わたしが、ぎ問に思った「ゾウの長い鼻は、においを感じ取ることができるのか。」ということについて、次のことが分かった。

ゾウの鼻は、長いからといって、においを感じ取ることができないわけではない。二、三キロメートル先のおいをかぎ分けるともいわれている。すぐれた鼻を使うことで、

**B**



## 『動物の体』の目次

### 目次

頭	6	毛	114
目	26	手	131
耳	44	足	158
鼻	68	しっぽ	175
口	91		

## 『動物図鑑』のさくいん

### さくいん

#### ア

～ (中略) ～

#### カ

カバ	69
カモノハシ	97
カンガルー	159, 183
キリン	12, 163

～ (中略) ～

#### ハ

パンダ	128
ビーバー	105
ヒツジ	123
ヒョウ	170
フクロウ	35
ブタ	71
フラミンゴ	168

～ (内容が続く) ～

※ 「さくいん」…本の中に出てくる主な言葉を順序よく並べ、書かれているページを記したものの。

北川さんの学級では、まど・みちおがたんぽぽを題材にして書いた【詩1】と【詩2】を比べて読み、考えたことについてグループに分かれて交流することになりました。この二つの詩と【グループでの交流の様子】をよく読んで、あとの問いに答えましょう。

### 【詩1】 タンポポ

だれでも タンポポをすきです  
 どうぶつたちも 大すきです  
 でも どうぶつたちは

タンポポの ことを  
 タンポポとは いいません  
 めいめい こう よんでいます

イヌ                    : ワンフオフォ  
 ウシ                   : ターモーモ  
 ハト                   : ポッポン  
 カラス                : ターター  
 デンデンムシ       : タンタンポ  
 タニシ                : タンココ  
 カエル                : ポポタ  
 ナメクジ             : タヌーペ  
 テントウムシ       : タンポンタン  
 ヘビ                   : タン  
 チョウチョウ       : ポポポポ



【詩2】 たんぽぽさんが よんだ

たんぽぽさんが よんだ  
どんな こえで？

はなのこえと アブのこえと

なんのこえでも みんな

あーら ひよーら ぷーら しょ

では かけていきましよう

たんぽぽさんが よんだ

どっちの ほうで？

あっちからと こっちからと

どっちからでも みんな

あーら ひよーら ぷーら しょ

では かけていきましよう

たんぽぽさんが よんだ

だれを だれを？

わたしたちと ちようちよたちと

だれも かれも みんな

あーら ひよーら ぷーら しょ

では かけていきましよう



(【詩1】と【詩2】は、まど・みちお『まど・みちお 全詩集』による。)

※【グループでの交流の様子】は、次のページにあります。

【グループでの交流の様子】

北川 まど・みちおさんの二つの詩を読んで、考えたことをみんなで交流しよう。

まず、【詩1】について話し合おう。

竹内 この詩は、二つの連<sup>※</sup>があって、第二連にはいろいろな動物が出てくるわね。

中西 そうね。「タンポポ」のことを、イヌは「ワンフォフォ」、ウシは「ター

モーモ」と表現しているところは、それぞれの動物たちの

ア  
を

「タンポポ」という言葉のひびきに重ねているようだわ。

山田 確かに、そうだね。でも、ナメクジの「タヌーペ」という表現は、少し

ちがうよね。体のとくちようや動きを表しているのかな。

竹内 そうか。ところで、ヘビは「タンポポ」のことを、どうして「タン」と呼ぶ<sup>よ</sup>のかな。私<sup>わたし</sup>

だったら、「タンニヨロ」と呼ぶかもしれないわ。

（中略）

山田 次は、【詩2】について考えてみよう。この詩は、三つの連があって、それぞれの連の中で

くり返し使われている言葉があるね。

竹内 そうね。「あーら ひょーら ぷーら しょ」という言葉は、第一連では **イ** 呼び、

第二連では **ウ** 呼んでいるね。第三連では **エ** 呼びかけていることが分かるわ。

それにしても、この言葉はだれの声なのかしら。

北川 題名にもあるように、ぼくは「たんぽぽさん」が呼んでいる声だと思うな。

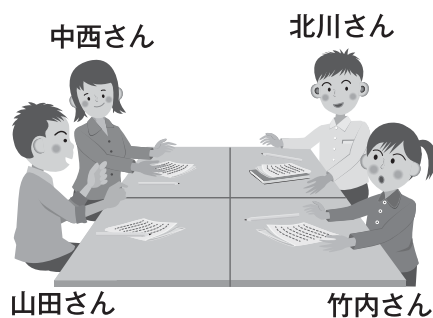
中西 私は、「たんぽぽさん」の呼びかけに対する「みんな」の返事の声だと思うわ。

山田 そうかな。ぼくは、「たんぽぽさん」と「みんな」が会話をしている声だと思うよ。のぼす

音に注目して音読すると、「たんぽぽさん」が「あーら ひょーら ぷーら」とリズムに

乗って呼びかけている感じがするんだ。それに対して、「みんな」が声をそろえて、「しょ

と返事をしているのではないかな。



〽 (中略) 〽

**北川** それでは、二つの詩を比べることにしよう。どちらの詩も、たんぽぽと周りの生き物との仲のよい様子が感じられるね。**【詩1】**は、「タンポポ」のことが好きだという動物たちの気持ちが届いてくるね。

**山田** **【詩2】**は、「では かけていきましょう」という言葉から、同じように仲のよい様子が分かるね。

〽 (中略) 〽

**中西** この二つの詩以外にも、「たんぽぽ」を題材にした詩はあるのかしら。ほかの詩も調べてみたくなったわ。

**全員** そうだね。調べてみよう。

※「連」…詩の中で、行を空けて分けているまとまりのこと。

一 **【グループでの交流の様子】**では、**【詩1】**と**【詩2】**について、それぞれが考えたことを話し合っています。次の(1)と(2)の問いに答えましょう。

(1) 

ア
---

の中に入る、最もふさわしいものを、1から3までの中から一つ選んで、その番号を書きましよう。

1 鳴き声

2 気持ち

3 名前



(2)

イ

・

ウ

・

エ

それぞれ一つ選んで、その番号を書きましよう。ただし、同じ番号は一回しか入りません。  
の中に入る、最もふさわしいものを、1から3までのの中から

- 1 さまざまな方向から
- 2 多くの相手に
- 3 いろいろな声で

## 二 「グループでの交流の様子」の

の中で、山田さんは、どのようなことに注目して考えたことを述べていますか。その内容として最もふさわしいものを、1から4までの中から一つ選んで、その番号を書きましよう。

- 1 題名に使われている言葉
- 2 声に出したときの言葉の調子やひびき
- 3 それぞれの連での問いかけの表現
- 4 「みんな」が走っているときの様子

三 あなたは、【詩1】と【詩2】を比べて読んで、どのようなことを考えましたか。次の条件に合わせて書きましょう。

〈条件〉

- 詩の内容や表現の仕方などについて、共通点やちがう点を取り上げて書くこと。
- 「たんぽぽ」と「まど・みちお」の両方の言葉を使って書くこと。
- 八十字以上、百字以内にまとめて書くこと。

※左の原稿用紙は下書き用なので、使っても使わなくてもかまいません。解答は、解答用紙に書きましょう。  
※◆の印から書きましょう。とちゅうで行を変えないで、続けて書きましょう。

◆									

100字 80字

これで、国語Bの問題は終わりです。

平成 26 年度 全国学力・学習状況調査

平成 26 年 4 月 文部科学省